

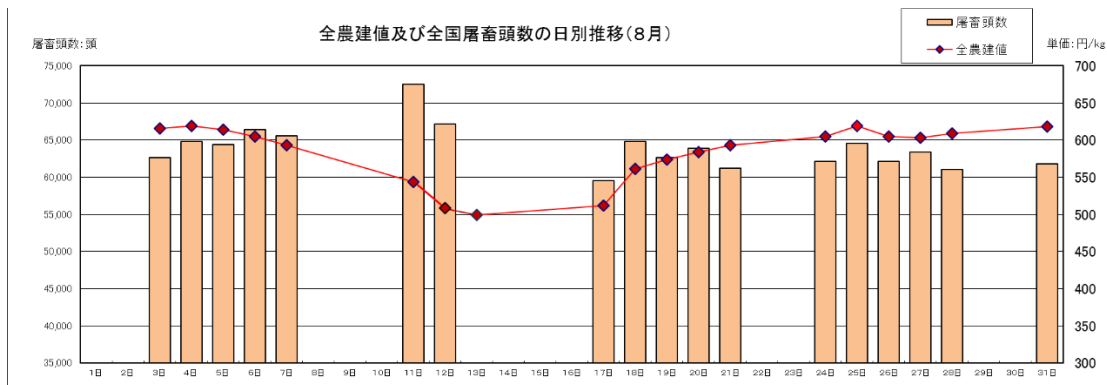
肉豚インフォメーション（8月）

【全農建値】

2020 年 8 月（税抜）	2019 年 8 月（税抜）
583 円/kg（55 円高）	528 円/kg

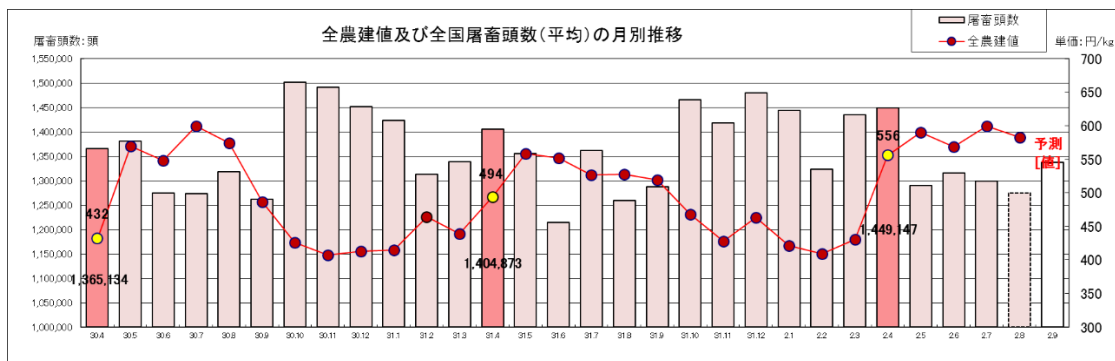
※過去 30 年で 3 番目に高い相場
1 番高い相場は 591 円（2017 年）

新型コロナウイルスの感染拡大防止で帰省を控える動きがあり、例年盆期間には売り上げの落ちる都市部で堅調な売れ行きを見せたこともあり、盆明けは手当買いで相場を引き上げる展開となった。下旬にかけて 9 月の特売等に向けた手当て買いの動きもみられた。



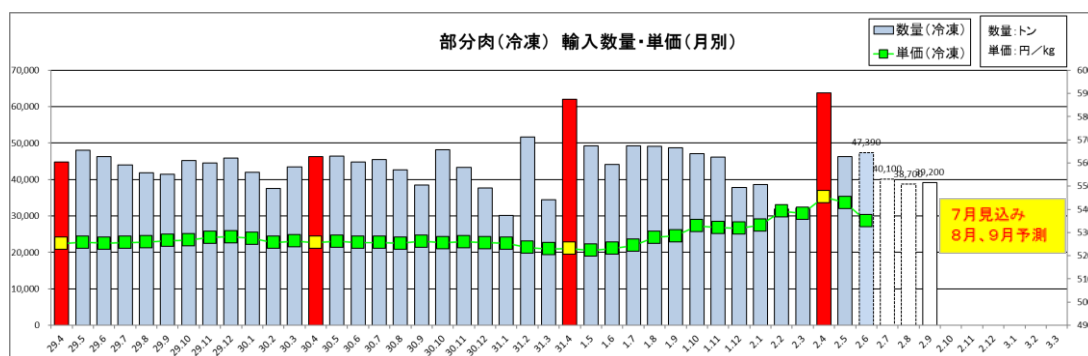
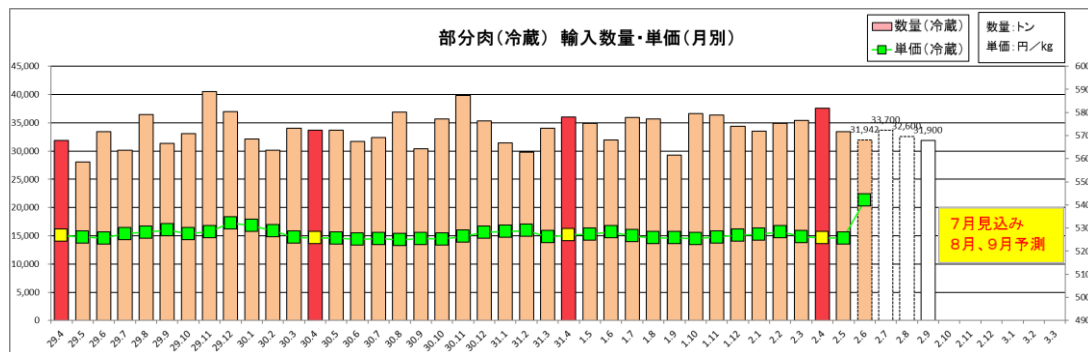
8 月以降の動向

出荷頭数は、9 月はやや前年同月を上回ると予測されている。



冷蔵品輸入量は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による北米工場の労働力不足等から、8 月は前年同月をかなりの程度下回る一方、9 月は前年同月の輸入量が台風 2 1 号の影響により少なかったこと等から、前年同月をかなりの程度上回ると予測する。なお、3 カ月平均では、前年同期をわずかに下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、国内の在庫が高い水準にあること、また、前年の輸入量が中国における ASF（アフリカ豚熱）の影響による先高を見越して多かったことから、8 月、9 月ともに前年同月を大幅に下回ると予測する。なお、3 カ月平均でも、前年同期を大幅に下回ると予測する。（ALIC 豚肉の需給予測について 8 月 27 日）



その他

北関東で連続して子豚や子牛が盗まれる事件が発生している。子豚は主に生後2か月～4カ月の子豚が狙われている。

国産豚相場が上昇傾向となっているため、量販店などでは輸入物へシフトする動きもみられる。

J A全国機関8団体で構成する協議会で実施した「J AグループCSF・ASF対策強化支援事業」1次募集の助成金額は総額4,833万円となった。茨城県における1次募集の助成金額は209万円となった。2次受募集は既に始まっており、JAから県本部への助成申請書の締め切りは12月28日となっている。

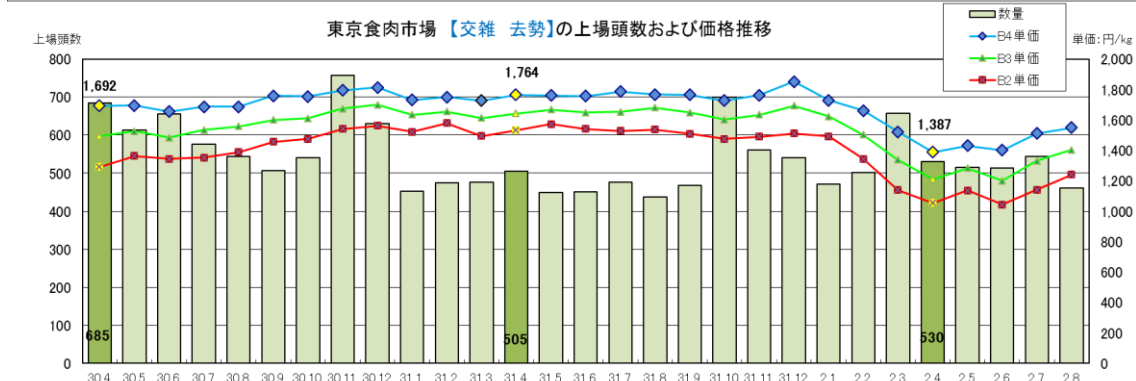
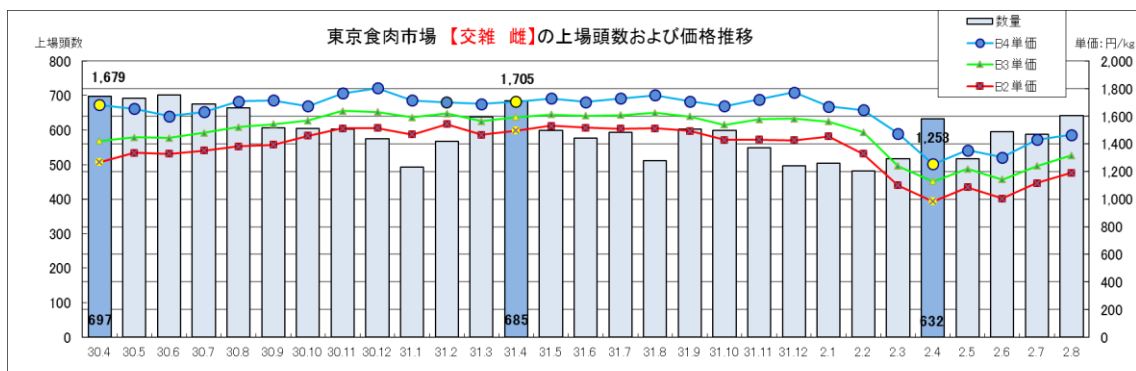
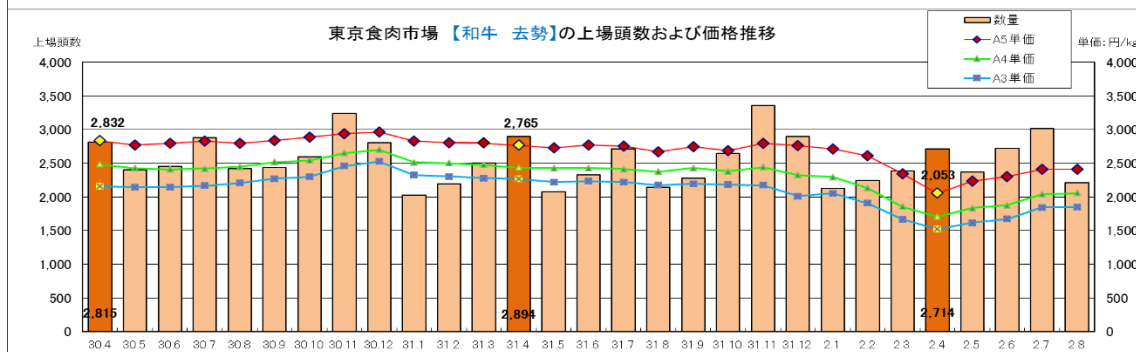
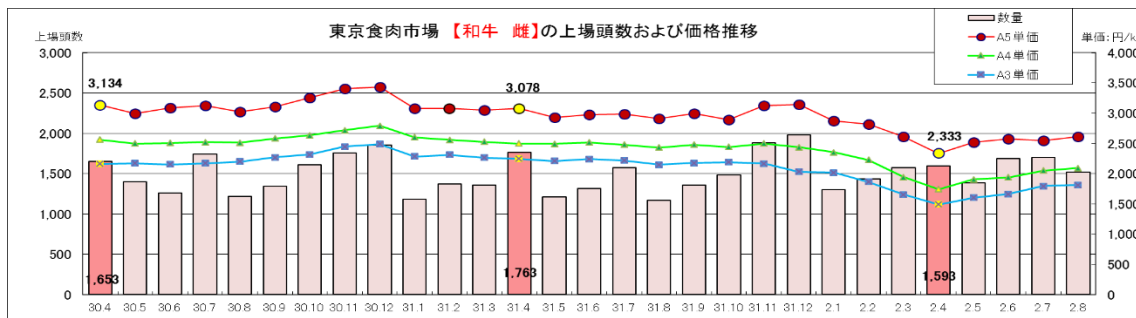
9月の相場は上旬底堅く推移し中20日以降は下げる見通し。

全農建値(税抜)510円～610円と予測する。

肉牛インフォメーション（8月）

● 8月の動向

8月の枝肉相場は、内食需要が継続し外食需要の回復が不透明となる中で、お盆の季節需要もあり旬は強含みで動いたものの、手当が終わった中旬～下旬にかけては弱含んだ。和牛、交雑牛ともに大きな下げは無く弱もちあいの中で推移した。



● 9月の動向予測

9月は出荷頭数が前年比11%と増加傾向の見通し。月後半には連休があるものの外食需要等は不透明な状況が続く。従来であれば、産地フェア等の引き合いが出てくる時期ではあるが、この状況だと活発な開催も見込めそうにない。

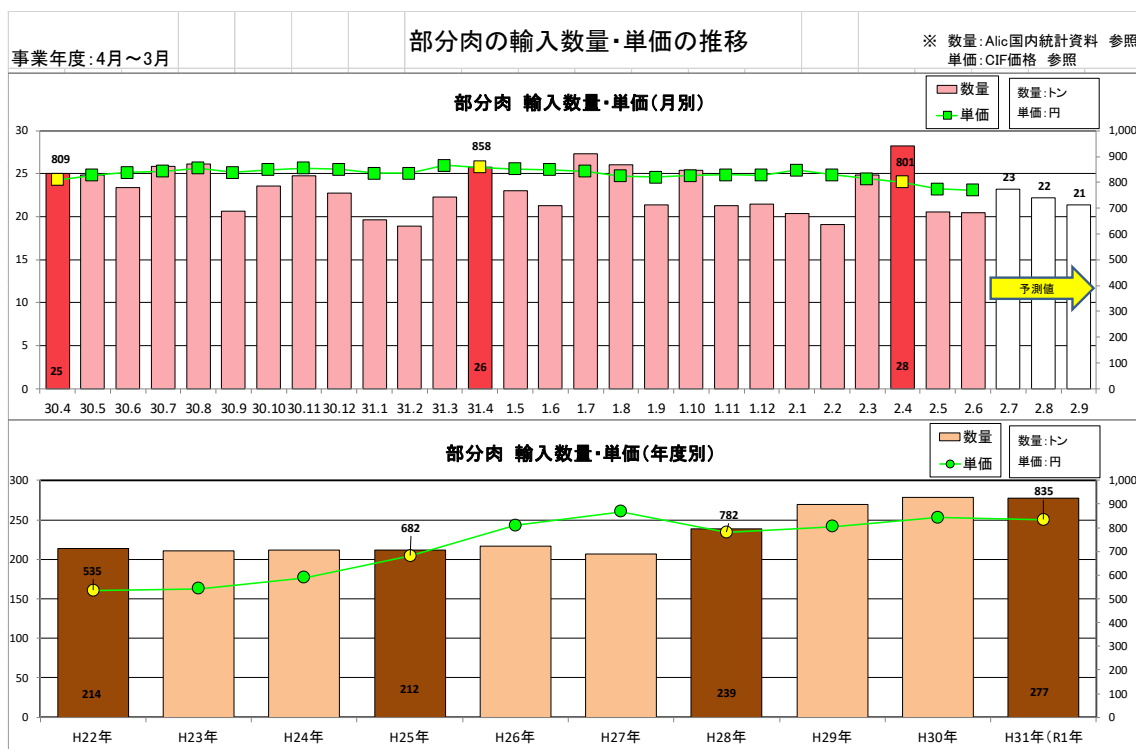
9月相場は「弱もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2350円（税込み） A4等級 2000円（税込み）
 交雑去勢 B4等級 1500円（税込み） B3等級 1300円（税込み）

● 輸入牛肉

牛肉（部分肉）輸入量は、新型コロナウイルスの影響に伴う外食需要の減少および豪州における生産量減少による現地価格の高騰等から、7～8月は前年同月を大きく下回り、9月は前年同月並みと見込む。なお、3カ月平均では前年同期を大幅に下回ると予測する。

（ALIC 統計資料 引用）



● 消費動向

牛肉は焼肉用が中心に動いている。平日は使い勝手の良い切り落としが売れるものの、週末はステーキを含む焼き材が良く動いている。季節柄と相まって野菜の高値推移も影響し、すき焼きやしゃぶしゃぶ用は鈍い動きとなっている。後々開始予定となっている Go to イートキャンペーンや需要の強いオンラインショッピング等での需要回復に期待したい。